

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

目 次

I	総括	1 ページ
II	諸活動報告	
1	地域福祉活動	2～3 ページ
2	ボランティア活動	4～6 ページ
3	生活支援サービス活動	6 ページ
4	児童家庭福祉（エンゼル）活動	6 ページ
5	障害者福祉活動	6～12 ページ
6	高齢者福祉活動	12～18 ページ
7	福祉学習（教育）啓発活動	18～20 ページ
8	調査・情報活動	20～21 ページ
9	組織基盤づくり活動	21～24 ページ
10	団体支援活動	24 ページ
11	町指定管理事業	24～25 ページ
12	諸会議	25～27 ページ
III	役員の状況	28 ページ

I 総括

人口減少や少子高齢化が進む中、介護や支援が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるために、地域包括ケアシステムの更なる推進が求められております。また令和4年度は新型コロナも徐々に落ち着きつつある中で、感染予防対策を講じながら事業を実施、イベントや活動も徐々に再開してきました。今後5類感染症への移行に伴い地域でのつながりづくり再開に向けてより一層進めてまいります。

地域福祉においては、「地域における公益的な取組み」を各社会福祉法人で連携して取り組むため、町内社会福祉法人連絡協議会「ほっとかへんネット猪名川（仮称）」の立上げに向けて意見交換会を開催しました。ボランティア活動も徐々に活発化し、活動・相談件数が増加しました。また地域でのサロンや体操教室等も徐々に再開され、人の輪づくり、きっかけづくり、健康増進を図りました。

地域包括支援センターや障害者相談支援センターなどの相談支援事業については、複合的な課題のある世帯や認知症、ひきこもりなどの幅広いケースに対応しながら関係機関などと連携を図り課題解決に向け相談支援を行いました。また生活福祉資金の特例貸付では、9月末まで貸付受付を行い、その後償還についての相談支援を実施しました。

自主事業である介護保険のデイサービス、訪問介護や障害者多機能型事業所においては、慢性的な人材不足が解消せず厳しい状況でありました。利用者、スタッフの感染で休止を余儀なくされることもありましたが、感染予防対策を講じつつ、サービス提供を実施し、介護保険事業は前年度と比べ増収となりました。一方、障害者多機能型事業所は新型コロナの影響のため利用自粛する方や当該事業所の休業等で減収となりました。

総合福祉センターの指定管理では施設の老朽化が進み、各所で故障が相次ぎ、修繕対応を行いました。ただし屋内プールについては設備故障のため10月1日から休業となりました。

組織運営では、新型コロナ感染防止のため、地域包括支援センター事務所の移転などを行い、職場環境の改善に努めました。

法人全体の資金収支では、令和4年度は収入総額430,720,660円（対前年度比101.6%）、支出総額422,395,195円（対前年度103.2%）となり、収支差額8,325,465円（対前年度56.3%）の黒字となりました。

以下、ここに令和4年度における本協議会の諸活動についてご報告致します。

II 諸活動報告

1 地域福祉活動

(1) 小地域福祉（福祉委員）活動

福祉委員制度は、各地域での福祉活動推進のために設置されており、福祉委員活動の支援や連携を取りながら、地域のつながりづくりや地域ニーズの把握に努めました。年度を通じて新型コロナの影響が大きく、多くの活動が縮小や自粛となりました。

ア 福祉委員会全体会及び役員会の開催（全体会2回、役員会4回）

全体会として福祉委員の役割について等の案内を行い、役員会では、全体で実施する活動についての協議などを行いました。新型コロナの影響下でも交流を行うツール紹介として、第2回全体会ではモルック大会を開催し、その後、地域でも取り組まれています。

イ 猪名川町 SOS ネットワークの協力

地域での見守り体制の構築に向けて、地域の関係団体等と協議を行いました。

ウ 校区福祉委員活動として認知症サポーター養成講座を実施

認知症の方への理解を深めるために、養成講座や行方不明者捜索訓練を実施しました。

エ 民生委員・児童委員と連携し、地域の見守り等の実施

地区・校区での交流会等を計画し、顔の見える関係づくりに努めました。

オ 健康福祉まつりへの参加・活動PR

地域での居場所づくりの手法についての紹介や、活動PRを予定していましたが、新型コロナの影響のため、まつりが中止となりました。

カ 社協事業等への参加

社協会員会費や赤い羽根共同募金運動などにおいて、例年、募金の依頼などを行っていますが、新型コロナの影響のため参加自粛となりました。

校区・地区ごとの主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	地区福祉委員会定例会、モルック普及活動等
原・松尾台地区	朝のうぐいす会、自治会・民生委員・児童委員・地域包括との交流会、感染対策グッズ配布等
阿古谷地区	ふれあい交流会（スポーツ大会、秋祭り、甲英文化祭、グラウンドゴルフ、健康講座等）、サロン活動等
猪名川小校区	「若葉いこいの家」の運営ボランティア、健康教室（チェアトレとサロン）、むつみ会活動支援、秋祭り、オレンジcaféへの参画等
つつじが丘小校区	秋祭り、ふれあいサロン、いこいの会、うたごえ喫茶、写経、カフェサンテ（お花見、腰掛け健康体操、おしゃべりサロン、習字教室等）
白金小校区	ほっとサロン絆（月1回）、土曜サロン（隔月1回）、研修会（施設見学）、校区民生委員との交流会、広報誌発行、「善意の傘」の点検修理等
楊津小校区	校区定例会、民生委員・児童委員との連携・交流会、地区ごとの活動等
大島小校区	各地区でのサロン活動や戸別訪問、民生委員・児童委員との連携・交流会等

(2) ふれあい弁当サービス

ひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

月別配食実績表

(単位：食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	158	117	200	155	150	146	136	129	106	72	150	170	1,689
1回あたりの平均配食数	40	30	40	39	30	37	34	33	36	36	38	34	35

※令和3年度実績1,747食、1回あたりの平均配食数38食

(3) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・知的障がい者など）が安心して、暮らしていけるよう福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理等、自立生活への支援を行いました。延べ相談援助件数は41件となりました。生活支援員による支援業務については、令和5年3月末時点で、4件となりました。

(4) 福祉相談マネジメント活動事業

生活困窮者に対して相談支援を実施し、ひきこもり支援に関する講演会を開催しました。

ア 生活福祉資金の相談・貸付

低所得者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立、生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れることを目的として事業を実施しました。令和4年9月末で新型コロナウイルス特例貸付が終了し《貸付総数は緊急小口資金227件、総合支援資金（初回・延長・再貸付）354件》、償還のための口座登録等の事務を行いました。本則の生活福祉資金では教育支援資金2件が貸付に至りました。

イ 自立支援に向けて関係機関との連携

生活福祉資金貸付に至らないケースは自立支援相談機関の「神戸冬を支える会」をはじめ関係機関などと随時連携を図りました。また、本年度はひきこもり支援を学ぶ機会として秋田県藤里町社会福祉協議会の会長を招き、住民福祉啓発講座を開催しました。

開催日：2月12日（日）

場 所：文化体育館（イナホール）小ホール

内 容：「ひきこもり支援（活動支援）から広がる地域福祉の可能性」

参加者：35名参加

ウ 心配ごと相談

毎月3回、民生委員・児童委員が輪番により町内3か所で実施しています。相談件数は2件でした。

2 ボランティア活動

(1) ボランティア活動センターの運営事業

ボランティア活動の場の提供やコーディネート、情報提供等を通じ、より多くの住民がボランティア活動を通して地域社会の関わる「きっかけづくり」活動を進め、福祉向上を目的に実施しました。

ア ボランティアに関する相談受付、コーディネート連絡調整

相談受付処理状況

(単位:件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他	令和4年度実績	令和3年度実績
一般住民	42	4	2	3	2	0	1	19	73	34
ボランティア・市民活動団体	9	15	5	20	10	7	1	77	144	79
福祉施設・病院	0	244	0	0	0	0	0	0	244	129
行政機関	0	37	2	18	1	0	0	16	74	43
社協	0	251	1	1	0	0	0	1	254	245
福祉団体	1	5	3	0	0	0	0	5	14	21
学校・教育機関	0	0	38	11	2	0	0	9	60	64
その他	0	1	0	1	0	0	0	0	2	3
合計	52	557	51	54	15	7	2	127	865	618

ボランティア活動延べ人数 2,371名 (令和3年度実績 1,783名)

ボランティア活動内容

一般住民	ボランティア活動の希望
福祉施設・病院	茶出し・ドライヤーの手伝い、話相手、囲碁将棋の相手、散髪、レクリエーションボランティア等
行政機関	音訳CD作成、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、福祉学習の手伝い、登録ボランティアグループの活動依頼等
福祉団体	聴覚障がい者・視覚障がい者に関する情報発信等
学校・教育機関	視覚・聴覚障がいの学習、認知症サポーター養成講座、福祉講演会の講師の相談、福祉学習機材の貸し出し等

イ ボランティアに関する情報提供・啓発

(ア) ボランティアの啓発

社協だよりにおいて、登録ボランティアグループの紹介を毎回掲載し、多くの

方々への紹介に努めました。また町内事業所の協力により各種ボランティア講座の案内チラシを設置しボランティア活動の啓発に努めました。

(イ) 啓発用冊子等の配布

ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「笑顔いっぱいボランティア活動」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布。主に学校での福祉学習体験時に配布し、啓発に努めました。

ウ 機材貸出

町内施設やボランティアグループなどへ、機材の貸出を行いました。

エ ボランティアグループ助成

住民の社会福祉活動への主体的な参加を促進し、ボランティア活動者の育成、及び活性化を図ることを目的にボランティアグループに対して活動経費の一部を助成しました。登録ボランティアグループ7団体からの申請に基づき助成金交付を行い、各グループが地域で活動されました。

オ 兵庫県ボランティア・市民活動共済

本年度の件数は89件、加入者数は1,288名でした。その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は、21件、加入者数は519名となりました。

カ ボランティア活動センター運営委員会・ボランティアグループ連絡会

(ア) 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会

ボランティア活動センターの円滑な運営を目的に、運営委員会を設け、年2回開催しました。

(イ) ボランティアグループ連絡会

ボランティア活動に関する連絡調整のため登録グループ参加のもと年2回実施しました。

キ 災害ボランティアセンター運営

ボランティアの役割・災害ボランティアセンターの運営について講師から講義を受けました。参加人数 計41名

ク ボランティア養成講座

下表のとおり各種ボランティア養成講座を開催しました。また、講座の様子を社協だよりに掲載するなど地域住民に興味を持って参加できるボランティア講座の企画に努め、ボランティア活動の担い手の育成に努めました。

	講座名	開催日(期間)	開催場所	参加者数(令和3年度実績)
1	災害ボランティア養成講座	6月18日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター	31名 (25名)
2	猪名川町地域応援ボランティア養成講座	9月6日(火) 13日(火) 30日(金) 計3回	総合福祉(ゆうあい)センター) 日生中央サピエ店	延べ40名 (49名)

	講座名	開催日（期間）	開催場所	参加者数（令和3年度実績）
3	手話奉仕員養成講習会（入門編）	10月12日～ 3月15日 毎週水曜日 計20回	総合福祉（ゆうあい）センター	16名・延べ274名 （14名・280名）
4	要約筆記啓発講座	1月22日・29日 2月12日・19日 （日）計4回	総合福祉（ゆうあい）センター	延べ97名 （77名）
5	災害登録ボランティア交流会（兼職員研修）	9月24日（土） 3月9日（木）	総合福祉（ゆうあい）センター	16名（14名） 職員：32名・災害登録ボランティア9名 計41名
6	ボランティア交流会	8月24日（水）	総合福祉（ゆうあい）センター	11名 （18名）

3 生活支援サービス活動

(1) 福祉用具貸出・相談活動事業

町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具の貸出を実施しました。

本年度は、新型コロナによる影響も落ち着きがみられた為、外出目的で利用される方が多く、特に車いすの利用が増加しました。

貸出件数

（単位：件）

貸出用具	車いす	ポータブルトイレ	歩行器	その他（杖・入浴関連）	合計
令和4年度	77	26	1	15	119

4 児童家庭福祉（エンゼル）活動

(1) 福祉を育む仲間づくり活動・子ども相談・支援活動

ア ちびっこボランティア講座

例年、小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへ関心を持つ契機となることを目的に開催していますが、新型コロナ感染予防の為、中止しました。

イ おもちゃ図書館（手作りおもちゃ制作・地域への貸出事業）

ボランティアが制作した手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。本年度貸出件数21件（本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています）

5 障害者福祉活動

(1) 啓発活動・団体支援

ア イナワイ等の地域交流会啓発活動

障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等の啓発を目的として、“音楽”

をテーマに活動しました。昨年度に引き続き、打楽器「カフォン」の演奏会に加えて、サンバグループを招待し開催しました。また、活動を通じて地域交流や啓発活動に取り組みました。(本事業は、一部共同募金の地域配分金を活用しています)

開催日：1月29日(日)・2月18日(土)・3月18日(土)

場 所：総合福祉(ゆうあい)センター

参加者：延べ35名参加

イ セルフヘルプグループの活動支援

セルフヘルプグループに対して諸活動の協力及び活動支援を実施しました。

- ・ 身体障害者福祉会
- ・ 身体障害者父母の会
- ・ 手をつなぐ育成会
- ・ こころ猪名川家族会

(2) ふれあい交流活動

ア ふれあい運動会

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいをづくり、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として開催を予定しましたが、昨年度同様に新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

イ ふれあいバスツアー

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」を3年ぶりに実施しました。神戸どうぶつ王国とめんたいパーク神戸三田に行き、参加者は久々のツアーを楽しみながら参加者同士の交流や親睦を図りました。(本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています)

開催日：3月11日(土)

場 所：神戸どうぶつ王国・めんたいパーク神戸三田

参加者：35名

ウ 障がい児・者プール教室

障がい児・者がプールでのレクリエーションへの参加機会確保と促進、自立支援及び障がい児・者を地域で支えるきっかけづくりを目的として、障がい児・者を対象としたプール教室を開催しました。

開催日：7月29日(金)・8月5日(金)・12日(金)・19日(金)

場 所：総合福祉(ゆうあい)センター

参加者：18名 延べ人数38名

(3) 障害者総合支援法事業

ア 多機能型事業所「希望の家すばる」運営

(ア) 就労継続支援B型事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、就労の機会、生産活動やその他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行いました。利用実績は、下表のとおりですが、新型コロナや大型台風の影響で計10日間の休所した期間があったものの、延べ利用者数は横ばいとなりました。工賃支給額が増額となった要因は、内職受託や地域イベント再開に伴い販売機会が増え売上高が増額したものです。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	18	17	16	17	17	17	18	19	18	18	19	18	3,473
	延べ利用者数	293	277	300	266	242	275	306	306	308	265	290	345	

※ 令和3年度利用者数 合計 3,475名

工賃支給状況

(単位：円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和4年度	工賃支給額	174,600	155,700	159,600	116,300	160,300	228,200	244,000
	平均個人支給額	9,700	9,158	9,975	6,841	9,429	12,677	13,555
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和4年度	工賃支給額	290,500	194,800	253,300	209,200	261,269	2,447,769	
	平均個人支給額	15,289	10,822	14,072	11,010	14,514	11,420	

※ 令和3年度平均工賃支給額 10,276円

(イ) 生活介護事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、入浴、排せつ及び食事等の生活支援、創作活動やレクリエーション等の日中活動の支援を行いました。利用者実績は下表のとおりで新型コロナや大型台風の影響で計10日間の休所や利用自粛もあり、昨年度に比べて減少となりました。またサービスの質の向上を目的に個々の障がい特性を理解するための内部研修や事例検討に積極的に取り組みました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	21	20	20	20	21	20	20	21	20	18	18	20	3,885
	延べ利用者数	343	326	347	293	307	313	330	338	334	273	297	384	

※令和3年度利用者数 合計 4,239名

イ 障害者ホームヘルプサービス事業（居宅介護・重度訪問介護）

日常生活を営むことに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談）サービス支援を行いました。利用者の体調不良、転居等により利用者数が減少し、昨年度に比べ減収となりました。

利用者数実績

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	9	8	8	9	10	11	9	12	9	10	12	13	609
	延利用者数	42	32	27	27	58	54	49	69	57	57	59	78	

※令和3年度利用者数 合計 720名

ウ 地域活動支援センター事業

町内在住の障がい（精神疾患）のある方を対象に、地域の中で自分らしく暮らすことを目的として、創作活動プログラムや社会との交流促進プログラムを提供しました。新型コロナウイルス感染防止の徹底の為、室内スペースの分散利用、利用ガイドラインの改訂を行い、感染への不安に対応できるよう努めました。

利用者数実績

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	13	14	14	12	10	11	8	12	10	11	11	10	899
	延利用者数	72	69	122	88	69	65	54	77	62	69	76	76	

※令和3年度利用者数 合計 791名

(4) 地域生活支援事業

ア 障害者療育支援事業

運動面や情緒・知的面などの発達の遅れが心配される児童を対象として、基本的な生活習慣の獲得や社会性の発達、運動機能の維持・向上などを目的とした事業です。障がいのある児童の健全育成の一助として、理学療法、作業療法、言語療法訓練について、専門機関から訓練士の派遣を受けて実施しました。

本年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者が減少しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	47	43	46	47	45	49	46	41	49	54	50	50	859
	延利用者数	68	73	79	63	55	89	76	66	65	77	80	68	

※令和3年度利用者数 合計 976名

イ 日中一時支援事業

障がいのある方に、一時的な日中活動の場を確保し、家族の就労支援や介護者の一時的な休息を目的に、必要な生活支援サービスを提供しました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	6	5	4	6	5	5	6	4	4	5	4	5	299
	延利用者数	27	23	25	28	25	28	29	24	20	23	19	28	

※令和3年度利用者数 合計 366名

ウ 移動支援事業

障がいのある方が、充実した日常生活を営むことができるようガイドヘルパーが付き添い、社会参加に必要な外出時の介助、支援を行いました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	5	4	5	6	4	6	6	5	4	5	5	4	99
	延利用者数	7	8	9	10	6	14	8	8	8	7	7	7	

※令和3年度利用者数 合計 101名

エ 音訳・点訳広報紙

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、社協だよりや町広報などの音訳・点訳への編集・発行を行いました。また、本事業のPRチラシを町福祉課の協力のもと障がい者手帳所持者へ発送するなど啓発にも努めました。音訳CDや点訳物は図書館や町福祉課等にも配布しています。本年度、利用者数4名。延べ利用回数150回となりました。(令和3年度の利用者数4名、延べ利用回数104回)

(5) 相談支援(就労支援)センターの運営事業

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことを目的に相談支援事業を

実施しました。

ア 総合相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、相談支援（生活支援・就労支援）を実施しました。障がいのある方や、その家族が安心して地域で暮らせるように、様々な相談に応じて、必要な情報の提供や、障害福祉サービスを利用するための支援を行うほか、権利擁護の為に必要な支援を実施しました。

種別相談等延べ件数（基本相談）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	身体	21	10	5	2	2	16	7	10	7	7	5	3	95
	知的	18	10	6	9	6	16	19	14	16	5	8	10	137
	精神	23	41	30	30	27	43	30	22	25	20	35	35	361
	重症心身	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	発達	3	7	4	4	3	9	12	7	7	3	4	4	67
	高次能	0	0	0	0	0	0	0	7	5	0	0	0	12
	その他	24	15	7	7	10	6	12	15	5	5	5	4	115
合計		90	85	52	52	48	91	80	75	65	40	57	56	791

※令和3年度実績 合計 772 件

イ サービス等利用計画

サービス等利用計画の作成は、福祉サービスを活用し、生活の質を向上させるために作成する計画です。障がいのある方（児）が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた支援を実施しました。また、その計画が利用者本人にとって適切かどうか、新たな課題はないか定期的な評価を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、引き続き訪問回数を必要最小限に留めるなど心がけました。

利用件数実績（延 2,320 件）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用件数	21	50	21	20	24	28	44	39	61	36	24	51	419

※令和3年度実績 実利用件数 367 件 延 2,957 件

ウ 就労支援業務（就職支援・職場定着支援）

就労に関する相談および支援を希望する障がいのある方、障がい者雇用に関する相談及び支援を希望する事業者を対象とし、相談者の個々のニーズに応じた支援・助言を行い、障がいのある方が就労する為の支援や就労が定着する為の支援を阪神北障害者就業・生活支援センターなどの関係機関と連携しながら実施しました。

エ 自立支援協議会（専門部会の運営）

猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会（生活・就労・教育）事務局として障がい

のある方(児)が安心して暮らせる町づくりのための課題についての検討を行いました。

また、本年度は新型コロナの影響で中止となっていた啓発セミナーを3年ぶりに開催し、住民へ障害福祉の啓発を実施しました。

オ 障害支援区分認定調査

猪名川町から調査依頼を受け、サービスの利用を希望する障がいのある方や家族に対して、障害の程度や生活の状況などについて調査を行いました。本年度の実績は27件となりました。(令和3年度実績 52件)

6 高齢者福祉活動

(1) 介護保険事業

ア 高齢者デイサービス事業

利用者の心身機能の維持や介護者の介護負担軽減などを目的として、入浴や食事等の支援を日帰りで提供しています。介護予防を目的とした口腔・運動訓練などを行い、新たな利用者の支援につながるよう努めました。但し本年度は、新型コロナ感染や大型台風の影響で計10日間事業休止となりました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	76	81	78	83	77	77	82	82	80	77	79	78	
	延利用者数	641	687	676	439	615	644	665	683	591	608	615	682	7,546

※令和3年度実績 合計7,635名

イ 訪問介護事業

要介護者等の在宅生活支援のためホームヘルパーが自宅へ訪問し、身体介護および生活援助を行いました。体調不良や在宅生活が困難となり利用が終了するケースも多くなりましたが、町内居宅介護支援事業所と連絡調整し、可能な限り利用者の受け入れを行いました。

利用者数実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	59	60	59	63	61	66	65	64	61	64	66	67	
	延利用者数	434	461	434	472	509	506	514	473	399	417	464	532	5,615

※令和3年度実績 合計5,385名

(2) 高齢者生活支援事業

ア 軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会との繋がりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となる方に対して、本事業を提案し、生活支援が必要な方に対し支援を実施しました。

利用者実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実利用者数	8	10	10	7	7	7	6	9	9	6	6	8	
	延利用者数	24	26	27	20	19	25	15	19	22	19	16	22	254

※令和3年度実績 計 232人

イ 生きがい活動支援事業

高齢者の生きがいをづくり、仲間づくりの支援として猪名川町総合福祉（ゆうあい）センターで運動系・文化系等の教室を開催し、閉じこもり予防の推進に努めました。中期よりプール設備の故障の為、一時的に教室数が減りましたが、後期より、水泳以外の教室数を増やし開催しました。教室開催回数 103 回、参加者数 166 名、延べ 1,064 名となりました。（令和3年度 実施回数 105 回、参加者数 162 名、延べ 1,081 名）

(3) 地域支援事業

ア 地域包括支援センター事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的および継続的な支援を行う地域包括ケア推進を目的とし実施しました。地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等がその専門知識や技能を互いに活かしながら地域住民とともに地域のネットワーク構築に取り組みました。

(ア) 総合相談（権利擁護含む）

サービス利用に関する初期相談や、虐待、成年後見制度の相談、複合的な課題を抱える相談などを介護サービス事業者や病院の医療相談員等多岐にわたる団体・機関から受け付けました。昨年度同様、新型コロナの影響で閉じこもり等により認知症の初期症状についての相談やコロナフレイルと思われる相談、同じく入退院時の家族の不安についての相談などが増加しました。必要に応じて関係機関や地域住民との連携を図りながら課題解決に向けた支援を行いました。

相談件数実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実件数	94	95	133	106	105	103	102	113	94	101	155	123	1,324
	延件数	195	175	252	182	195	200	156	212	142	165	308	212	2,394

※令和3年度実績 実件数 1,311 件、延べ 2,294 件

(イ) 介護予防ケアマネジメント

要支援 1・2 の方の介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが実施されるよう援助(相談・ケアプラン作成・サービス調整等)を行いました。

プラン作成件数実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	地域包括	130	133	133	129	126	129	132	129	125	127	126	134	1,553
	居宅介護支援事業所へ委託	227	229	223	217	216	209	216	212	214	210	214	214	2,601
合計		357	362	356	346	342	338	348	341	339	337	340	348	4,154

※令和3年度実績 合計 4,130 件

(ウ) 介護支援専門員(ケアマネジャー)支援

支援困難ケースを抱える介護支援専門員からの相談に随時対応し、必要に応じて協働でケースに関わりました。また、介護支援専門員連絡会やサービス事業所連絡会のサポート役として、企画・運営に参加しました。

(エ) 成年後見相談

成年後見制度の啓発・相談機能の強化として、毎月第3金曜日 10時から12時に個別相談を実施し、相談件数は6件となりました。また成年後見制度普及啓発講座を実施しました。

成年後見普及啓発講座

開催日：2月18日(土)
場 所：総合福祉(ゆうあい)センター+リモート参加
内 容：「成年後見制度について～将来に備えて今知っておきたいこと」
参加者：19名(会場参加：13名、リモート参加：6名)

イ 生活支援体制整備事業

「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、公的

機関や地域の多様な機関・団体と連携し、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援を実施しました。

昨年度に引き続き、本年度も新型コロナの影響はありましたが、地域での居場所づくりを目的とした活動も、感染対策を行いながら、可能な範囲で再開となりました。

また本年度も、ボランティア活動センター、地域包括支援センターと協働で、地域応援ボランティア養成講座を行い、地域の担い手づくりに取り組みました。

新規の取り組みとして、松尾台校区でのアンケート実施、いきいき百歳体操教室の啓発を行いました。

ウ 認知症高齢者見守り事業

「やすらぎ支援員」（認知症の基礎知識・接遇研修受講者）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて「なじみの関係」を作ることで、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担軽減を図ることを目的としています。本年度は、昨年度に引き続き新型コロナの影響もあり利用はありませんでした。

エ 家族介護支援事業

(ア) 認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちを地域住民の手でつくることを目指す全国的な取り組みです。本年度は、認知症サポーター養成講座を12回開催し、432名の認知症サポーターを養成しました。

また、講師役のキャラバン・メイトのステップアップ研修として、西播磨認知症疾患医療センター主催の研修をオンラインで受講しました。

	開催回数	サポーター数
令和4年度	12回	432名

(イ) 家族介護教室

家族や地域住民等の援助者を対象に、介護方法、介護予防、健康づくり等の知識及び技術の習得を目的に開催しました。本年度は、若年性認知症当事者の方を迎えて講演会を行いました。

開催日：11月10日（木） 場 所：猪名川町社会福祉会館大ホール 内 容：「認知症と共に生きる」 参加者：58名

(ウ) オレンジcafé（認知症カフェ）開設

認知症の方とその家族、地域住民、専門職などが気軽に参加できる場所とし、介護相談のきっかけや地域とのつながり作りを目的に実施しました。

これまでの地域包括主催のオレンジcaféに加え、新たに出張オレンジcafé（町

内3か所)が開設しています。その他若年性認知症の当事者の居場所として「ゆう友サロン」も継続しています。

	オレンジ café	出張オレンジ café			合 計
	(日生中央サビエ)	オアシス猪名川	喫茶「ナイスデイ」	イオン猪名川店	
開催回数	9	5	7	2	23
参加者数	280	85	50	103	518

オ 地域介護予防活動支援事業

(ア) 脳健康教室モデル及び自主教室運営支援

認知症予防・集いの場の確保・ボランティア活動の場の提供を目的として、「脳健康教室」を実施しています。現在町内3か所で開催しており、自主グループへの支援として、教材管理、活動事務経費助成等の支援を行いました。

(イ) 脳健康教室サポーター養成講座

本年度はサポーターが充足しているため実施しておりません。

(ウ) 健康長寿体操教室運営支援

健康寿命を延ばすために身近な地域にて体操教室が展開されており、その支援を実施しました。新型コロナの影響で一定期間、開催自粛を行った教室がありましたが、秋以降は全ての教室で実施となりました。

健康長寿体操教室一覧

	教室名		教室名
1	若葉いきいき体操教室セカンド	11	北田原すみれ倶楽部体操教室
2	旭ヶ丘健康体操クラブ	12	あこやクラブ健康体操部会
3	いきいき体操松尾台教室	13	つつじが丘健やか体操
4	いきいき体操日生中央教室	14	猪名川荘苑健康長寿体操教室
5	伏見台チェアトレーニング教室	15	やないづ体操クラブ
6	パークタウン東体操教室	16	柏原健康体操
7	猪名川台ちょこっと体操	17	ふらっと体操教室
8	東山いきいき元気倶楽部	18	広根健康長寿体操教室
9	清水健康体操教室	19	西畑体操教室
10	若葉いきいき体操教室ファースト		

(エ) いきいき百歳体操教室

健康寿命を延ばすために身近な場所で少人数から取り組めるよう、本年度よりいきいき百歳体操教室事業を開始し、1教室開設されました。

	教室名
1	あゆみ会

(オ) ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援

地域の方が支え合い、いつまでもいきいきと安心して暮らせるよう、地域の住民が主体となり身近な場所で交流を深める居場所を立ち上げるための支援を行いました。新型コロナの影響もある中、新たに伏見台地区でサロンが立ち上がりました。

また、既設サロンでは、新型コロナの状況に応じて活動されており、その支援を実施しました。

ふれあい・いきいきサロン開設状況

	サロン名	地域名
1	ほっとサロン	猪名川荘苑
2	わ（話・和・輪・環・把・羽）の会	広根ニューハイツ
3	若葉活き活きサロン「スマイル」	若葉
4	にこにこサロン	旭ヶ丘
5	サロン島村	島
6	伏見台自治会サロン「いっぷく亭」	伏見台
7	えんがわ CAFE	松尾台
8	白金いきいきサロン	白金
9	猪名川台あそぼう会	猪名川台
10	すこやかサロン	つつじが丘
11	清水ふれあいサロン	清水
12	伏見台いこいの広場	伏見台
13	杉生いきいきサロン	杉生
14	ハートフルサロン	仁頂寺・川向
15	西畑サロン	西畑
16	地域の茶の間 岡田っ家	伏見台
17	サロンよりみち	伏見台

カ 認知症初期集中支援促進事業

支援チーム員と行政において、6回会議を開催しました。新規6件、終了3件、モニタリング中1件となりました。啓発活動として、町内医療機関24か所へパンフレットを配布しました。

最終引継ぎ先	件数（件）
ケアマネジャーと介護保険制度の利用	3
見守り中、かかりつけ医と連携	1

キ 介護予防普及啓発事業

食を通じた介護予防と健康寿命延伸の啓発活動に取り組んでいます。「すこやか食生活講座」と題してPR活動を行い、老人会や地域のサロン等において、講話や試食会を実施しました。

健康づくり講演会（令和3年度は計1回、33名）

開催日：2月24日（金）
場 所：日生公民館
内 容：ロコモ対策に関する講演会
参加者：30名

個別等での相談活動や食事指導（令和3年度は161件、211名）

指導・相談形態	件数（件）	対象人数（名）
家庭訪問指導	25	25
個別相談	10	10
集団指導（うち出前講座）	10（8）	210（194）
デイサービスにおける食事形態個別対応	112	112
合計	157	357

(4) 地域ふれあい事業

ア ふれあいの場運営事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らし、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を実施し、本年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

利用実績

	開所日数（日）	延べ利用数（名）	子供利用（名）	高齢者利用（名）	その他（名）
令和4年度	279	1,638	340	1,190	108

イ 高齢者スポーツ助成事業・文化活動助成事業

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（10月14日（金）開催、参加者約190名）と文化活動「演芸発表会」（2月14日（火）開催、参加者約153名）の運営補助を行いました。（本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています）

7 福祉学習（教育）啓発活動

(1) 福祉教育活動事業

ア 福祉教育協力校の指定（町内小学校6校・中学校2校の指定）

地域住民の福祉活動への理解と関心を深めるため、幼少期から高齢期に至るまで生涯を通じて幅広く福祉教育・学習の機会を提供し、体験・交流活動などを推進することを目的とし、助成金を交付しました。

各学校規模に応じ福祉講演会・校区内の高齢者との交流・高齢者疑似体験や車いす体験などの福祉体験を積極的に取り組まれました。（本事業は、共同募金の地域配分

金を活用しています)

イ 福祉教材の貸出

福祉教育の推奨を目的に、福祉学習に使用できる物品の貸出を行いました。福祉学習では、高齢者疑似体験や車いす体験・視覚障がい者疑似体験学習時に使用する物品・点字学習時の点字版などの貸出を行いました。

ウ 学校・地域等での福祉講演会・体験学習の講師紹介等

「聴覚障がいの学習」については手話サークルマジック、「視覚障がいの学習」については点訳ボランティアてんてまりの協力を得て実施しました。2学期に集中し福祉学習の依頼があり、認知症サポーター養成講座や高齢者疑似体験・車いす体験学習の協力を行いました。学年ごとに体験学習を取り入れたり福祉講演会を実施されたりと様々な福祉学習に取り組んでもらえました。

福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催回数	内 容	延べ参加人数
猪名川小学校	計 6 回	点字学習、福祉講演会、高齢者疑似体験等	405
楊津小学校	計 3 回	聴覚障がいについての話と手話体験、点字学習等	24
大島小学校	計 4 回	車いす、アイマスク体験、福祉講演会、点字学習等	62
松尾台小学校	計 5 回	車いす体験、聴覚障がいについての話と手話体験等	230
白金小学校	計 6 回	点字学習、車いす・アイマスク体験、高齢者疑似体験等	510
つつじが丘小学校	計 5 回	聴覚障がいについての話と手話体験、点字学習等	389
猪名川高校	計 3 回	認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験	60
※ () 人数は、活動したボランティアの人数			1,680 (180)

※令和3年度 1,582名 (ボランティア活動者 139名)

エ 出前講座の実施

地域や学校と“顔の見える関係づくり”を構築し、それぞれのニーズに応じた福祉学習を支援し、福祉に関する関心を高めることを目的に、出前講座を実施しました。例年、地域の老人会、福祉委員会等で開催しますが、本年度も新型コロナの影響で地域活動が縮小、依頼は8件となりました。

出前講座開催実績

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所
1	6月7日(火)	大人のひきこもり 8050問題	13	民児協六瀬地区委員会 /社会福祉会館
2	6月17日(金)	認知症予防に役立つ 食事と生活	24	若葉熟年倶楽部 /若葉自治会館
3	8月2日(火)	SOSネットワーク について	13	民児協中谷地区委員会
4	9月6日(火)	高齢者施設について	6	民児協白金地区委員会 /社会福祉会館
5	9月6日(火)	高齢者について	8	民児協つつじが丘地区委 員会/社会福祉会館
6	11月9日(水)	脳トレ	42	むつみ会 /レックスパーク
7	11月27日(日)	SOSネットワーク について	20	つつじが丘まち協 /アザレア会館
8	2月22日(水)	介護全般について	25	猪名川台いこいの家 /猪名川台自治会館
合計			延べ151名/8団体/全8回 (令和3年度 延べ106名/4団体/全4回)	

オ 福祉学習を考える集いの開催

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践され、基本的な考え方や、学校や地域で身近にできる福祉学習の取り組み方を学び、猪名川町の福祉学習がより充実したものとなることを目的に実施しました。

	内容	開催場所	参加人数
8月9日(火)	今後の福祉学習を考 える。お悩み相談会	総合福祉(ゆうあい) センター	11名

カ トライやるウィークへの協力

新型コロナの影響により中止が続いていましたが、本年度は再開され、清陵中学校1名の受け入れとなりました。

8 調査・情報活動

(1) 啓発・情報活動事業

社協の役割や活動を周知し、福祉活動への参加を促進するため、地域住民やボランティアと一体となった福祉啓発イベントの運営や社協だより、ホームページ掲載内容の充実
に努め、タイムリーな情報提供等、福祉情報について広報活動に取り組みました。

ア 社協だよりの発行

機関紙である「社協だより」を5月、7月、10月、1月の年4回（1回12,000部）発行し、全世帯に配布しました。掲載内容の充実と、読みやすい紙面への工夫を行いました。（本事業は、共同募金の地域配分金を活用しています）

イ ホームページの充実

より良いホームページ作成を目指し、福祉情報の発信や社協活動のPRに努め、特に社協開催の講座の周知を図り、受講者の増加に努めました。

ウ 町広報との連携

講座等の案内は、町広報とも連携し、毎月数件の情報を「広報いながわ」へ掲載しています。また、「いなぼうネット」での案内も実施しました。

エ 社協リーフレット・パンフレット作成

各事業等にて講座等のチラシを作成するとともに、社協会費のリーフレットを作成し、社協事業等の案内を行いました。作成したチラシ等は、ホームページに掲載するとともに、「ふれあい伝言板」（役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置）にて福祉情報の発信や社協活動のPRに努めました。

オ 健康福祉まつりでの啓発活動

「だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会」をめざして、住民相互の理解と交流を深め、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、例年「健康福祉まつり」に参加してきましたが、昨年度に続き、本年度も新型コロナの影響によりイベント自体が中止となったため啓発活動は行えませんでした。

9 組織基盤づくり活動

(1) 組織・基盤づくり活動事業

社会福祉法等の関係法令を遵守し、地域から信頼され、事業運営の透明性を確保し、より適正で効率的な法人運営に取り組みました。また10月に地域包括支援センターの事務所を旧図書コーナーへと移転し、働きやすい職場環境作りに取り組みました。

ア 定款・諸規程等の整備・改廃

本年度における理事会及び評議員会の開催、諸規程等の制定及び一部改正議案については、本報告書「12 諸会議」を参照。

イ 地域福祉推進計画の策定と評価

令和2年度～6年度までの5ヶ年に亘る第7次猪名川町地域福祉推進計画について3年目の各事業の評価、現状と課題（評価）及び翌年度の目標について評価委員会にて審議しました。

ウ 猪名川町社協職員災害時行動の手引きに基づく研修・訓練

職員の入退職ごとに災害時連絡網の更新を実施し、年2回、緊急連絡伝達訓練を実施

しました。

エ 役員・職員研修の充実

職員研修として救急救命講習、ハラスメント防止研修、災害ボランティアセンター研修など実施。また県社協の福祉人材センターから職員研修アドバイザーを招いて「求められる職員像」をテーマに研修を実施。階層別の「求められる職員像」について整理しました。その他、職員の資格取得助成制度の導入の検討を行いました。

(2) 自主財源促進活動事業

ア 社協会員の増強

地域福祉の充実と社協基盤の確立を図るための財源となり、各自治会を通じ啓発を行い会員の加入促進に努めました。本年度は新型コロナの影響により自粛していた賛助・団体会員の募集を再開したことにより昨年度より増額となりました。

会員会費の実績

(単位：円)

会員の種類	会費額	令和4年度		令和3年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,264,270	45 自治会	2,340,366	47 自治会
賛助会員	5,000	233,000	41 事業所	15,000	2 事業所
団体会員	5,000	10,000	2 団体	0	0 団体
合計		2,507,270		2,355,366	

(3) 共同募金運動への協力事業

ア 赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会として募金活動を実施しました。本年度は、住民の方に地域福祉活動を知っていただくため、きっかけづくりを重視した活動を町全体の取組みとし、町内自治会、学校、法人等の多くの方々の協力を得ることができました。街頭募金活動については、新型コロナの影響により実施できませんでしたが、本年度は新たな取組みとして猪名川町で11月に開催された「いながわまつり」において赤い羽根共同募金として出展をし、バザー募金を実施しました。

また、1月から3月を期間拡大募金と位置付け、募金箱の設置での募金啓発活動を実施しました。

募金実績（期間拡大募金実績含む）

	目標額（円）	実績額（円）	達成率
令和4年度	1,915,000	1,700,118	88.7%

※令和3年度募金額実績 1,698,950円

募金内訳別実績額（期間拡大募金実績含む）

（単位：円）

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,138,073	学校募金	67,284
街頭募金	0	イベント募金	33,602
法人募金	170,000	その他（募金箱）	8,859
職域募金	282,300	-	-
合計		合計	1,700,118

イ 歳末たすけあい運動の実施

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができる一助として、「つながる ささえあう みんなの地域づくり」のスローガンのもと12月1日から12月31日の間、運動を実施しました。

募金活動においては、新型コロナ感染拡大防止のため街頭募金活動は自粛しました。本年度は、いながわ子供の家入所者へのお年玉として配分のほか、児童扶養手当受給者の世帯へ配分しました。

募金実績

（単位：円）

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	658,772	
2	募金箱	8,804	
合計		667,576	

配分内訳

（単位：円・件）

NO	配分先	配分金額	配分基準額	件数	備考
1	生活困窮世帯	300,000	20,000	15	
2	いながわ子供の家		10,000	6	お年玉として小・中・高校生へ配分
		204,000	8,000	8	
			5,000	16	
3	児童扶養手当受給者	200,000	5,000	11	小・中入学準備金含む
		220,000	20,000		
合計		924,000		56	

(4) 善意銀行の運営事業

住民や団体等から福祉向上のため預託される金品・物品等貴重な浄財を、必要な人々や団体の福祉活動に役立てるよう運用を行いました。

ア 運営委員会による適正な運営

運営委員会を開催し、善意銀行の適正な運用について協議・報告を行いました。本年度も、いながわ子供の家を退所する児童に対して進学・就労の支度準備金として、運営

委員会において承認を得て払出を行いました。

イ 金銭・物品の預託と払出

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	262,707 円	7 件	一般	627,000 円	・ 榎丹地区里親会 ・ ひょうご子ども家庭福祉財団 ・ 緊急払出し 3 件 ・ 日常生活自立支援事業利用料一部助成 15 件 ・ ふれあい・いきいきサロン継続支援助成 1 件 ・ 地域居場所づくり応援助成 4 件 ・ いながわ子供の家
	指定	100,000 円	1 件	指定	100,000 円	・ 猪名川町事業所連絡会
	合計	362,707 円		合計	727,000 円	
物品	その他	11 件	・ 玄米 ・ 衣類 ・ オムツ類 ・ トロミ剤 ・ 口腔ブラシ ・ 日用品	福祉用品、その他	11 件	・ 町内福祉施設などへ払出し
	合計	11 件		合計	11 件	

ウ 地域の居場所づくり応援支援助成

地域で誰もが自由に集える居場所、サロンを運営する団体に対して善意銀行から運営助成を行うもので、申請のあった若葉絆の輪・猪名川台あそぼう会・旭ヶ丘・広根ニューハイツ「わの会」に対して助成金（1 団体につき 20,000 円）の交付を実施しました。

10 団体支援活動

(1) 福祉団体の支援事業

福祉関係団体の自主的活動に向けて、事務局として各当事者団体の活性化と活動の充実に向け団体活動の継続的支援に取組ました。

- ・ 民生委員児童委員協議会
- ・ 老人クラブ連合会
- ・ 遺族会
- ・ 身体障害者福祉会
- ・ 身体障害者父母の会
- ・ 手をつなぐ育成会
- ・ こころ猪名川家族会

11 町指定管理事業

(1) 猪名川町総合福祉センターの管理・運営事業

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動の場として、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行いました。本年度は屋内プール設備故障のため 10 月 1 日か

ら利用休止となりましたが、それ以外では休止することなく利用できたことにより昨年度利用実績を上回ることができました。

ア 利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養 娯楽室	研修室	ドーム	合計
令和 4 年度	件数	33,115	3,132	550	233	1,114	38,144
	人数	33,115	3,132	2,959	2,596	8,220	50,022

※令和3年度実績 合計 18,334 件 合計 29,896 名

イ 施設修繕一覧表

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
5月	福祉センター厨房内食洗器修理	95,700
	福祉センター相談室等 LAN 配線工事	165,000
	福祉センター3階空冷ヒートポンプチラー点検調査	196,900
6月	福祉センター3階機械室内冷温水管漏水改修工事	324,500
7月	福祉センター事務所ブラインド取替工事	50,160
	福祉センター2階居室空調機取替工事	410,850
	福祉センター屋内プールトイレ扉改修工事	66,880
8月	ドーム入口扉・円形広場ベンチ改修工事	32,692
	福祉センター洗面排水管更新工事	218,130
	福祉センター一般浴室改修工事	158,400
10月	福祉センター屋内プール排水部品取替工事	110,000
	福祉センター一般浴室・2階浴室改修工事	137,500
11月	福祉センター事務所移転工事 (図書コーナー改修工事)	556,500
	福祉センター内設備改修工事 (時間外出入口・トイレ等)	36,498
12月	福祉センター厨房内調理器扱取工事	28,380
1月	福祉センター天井裏給湯管更新工事	55,000
	福祉センター厨房水道管取替工事	13,068
2月	福祉センター消防点検指摘箇所改修工事	187,000
3月	福祉センター厨房給湯器取替工事	289,300
合計		3,132,458

12 諸会議

次頁表のとおり、法人運営に係る諸会議について報告します。

(1) 理事会開催状況

(理事定数9名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R4. 5. 31	理事会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 採決状況	令和3年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 令和3年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 令和4年第1回評議員会の招集日時、場所、議題等について 第1号～第4号すべて議決
R4. 9. 29	理事会 (2回)	総合福祉センター	議案第5号 議案第6号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員の推薦候補者について 第5号・第6号すべて議決
R4. 12. 9	理事会	理事会開催の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第96条)	議案第7号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第7号書面議決
R5. 2. 1	理事会 (3回)	総合福祉センター	議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 採決状況	令和4年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の全部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会囑託職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の候補者について 令和4年度第2回評議員会の招集日時、場所、議題について 第8号～第13号すべて議決
R5. 3. 24	理事会 (4回)	総合福祉センター	議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 採決状況	令和4年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第2号)について 令和5年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 令和5年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会旅費規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員資格取得助成要綱の制定について 令和4年度第3回評議員会の招集日時、場所、議題について 第14号～第20号すべて議決

(2) 監事会開催状況

(監事定数 2 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容
R4.5.25	監査	総合福祉センター	令和3年度事業報告・収入支出決算監査 監事2名出席

(3) 評議員会開催状況

(評議員定数 17 名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容
R4.6.21	評議員会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号 令和3年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 令和3年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 採決状況 第1号・第2号すべて議決
R5.2.15	評議員会 (2回)	総合福祉センター	議案第3号 令和4年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について 議案第4号 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の選任について 採決状況 第3号・第4号すべて議決
R5.3.31	評議員会 (3回)	総合福祉センター	議案第5号 令和4年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事補正予算(第2号)について 議案第6号 令和5年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 議案第7号 令和5年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 採決状況 第5号～第7号すべて議決

(4) 評議員選任・解任委員会

(委員定数 5 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
R4.10.18	委員会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員推薦候補者の選任について 採決状況 第1号議決

Ⅲ 役員の状況

1 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況 (令和5年3月31日現在)

(1) 理事 (定員7名以上9名以内)

(任期 令和3年6月23日～令和4年度に関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

会長	村山	興治
副会長	北上	倫聖
理事	守谷	教彦
〃	坂田	哲啓
〃	安藤	邦美
〃	堀口	初恵
〃	紺家	儀二
〃	大西	崇
常務理事	中元	進

(2) 監事 (定員2名以内)

(任期 令和3年6月23日～令和4年度に関する定時評議員会の終結時まで)

※順不同

監事	家門	正幸
監事	鮫島	秀一

(3) 評議員 (定員14名以上17名以内)

(任期 令和3年6月23日から選任後4年以内の終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結まで)

※順不同

評議員	北山	義和	評議員	福本	道子
〃	安武	雅子	〃	太田	はるよ
〃	森中	清宏	〃	谷口	稔
〃	関根	純子	〃	山田	陽一
〃	大上	富士	〃	和泉	輝夫
〃	高岡	美津子	〃	伊藤	茂子
〃	安達	隆	〃	板橋	汎子
〃	今泉	友幸	〃	関口	捷子
〃	石井	誠			

